

<別紙>

## 再処理施設における電路等の耐震性向上工事の実施について

当社は、耐震安全性評価の対象設備以外の設備で、耐震性確保が必要と考えられる設備（配管・ダクトのサポート、ケーブルトレイ・電線管の本体とサポート）について、新耐震指針に基づき策定した基準地震動  $S_s$ （450Gal）を用いた検討・評価を自主的に実施いたしました。

その結果、電路（ケーブルトレイ、電線管）、計装配管サポートの設備の一部（621箇所）について設備等の管理上の観点から耐震性の向上工事が必要との評価が得られたことから、今後、対象設備に対し、サポートの追加等の工事を実施することといたしました。

### ○耐震性向上工事の概要

建屋名	ケーブルトレイ	電線管	計装配管サポート
制御建屋	—	71箇所	—
精製建屋	27箇所	259箇所	—
ウラン・プルトニウム 混合脱硝建屋	22箇所	240箇所	—
使用済燃料受入れ・貯蔵施設 安全冷却水系冷却塔 A基礎	—	—	2箇所
合計	49箇所	570箇所	2箇所

### ○耐震性向上工事のイメージ図

（工事箇所を赤で示す）

